

学びふれあい 心豊かに

生涯学習

公民館講座受講者募集

仙北市民を対象とした次の公民館講座の受講者を募集します。受講を希望される方は各講座の申込期間の平日9時から17時まで、申込・問合せ先の公民館の窓口または電話でお申し込みください。

ひな祭りにいかがですか

ひし餅型お寿司作り教室

3月3日は桃の節句です。ひな人形に供えられる「ひし餅」の三つの色は、緑が健康や長寿、白は清浄、ピンクは魔除けの意味があるそうです。今年は、自作の「ひし餅型お寿司」でひな祭りのお祝いをしてはいかがでしょうか。

- 日時／①2月27日(木) ②2月28日(金) 10～12時頃
- ※二日間とも同じ内容です。①または、②でお申し込みください。
- 場所／旧石黒(恵)家
- 講師／浅利久美子氏
- メニュー／ひし餅型お寿司、ほか一品
- 持ち物／エプロン、三角巾、筆記用具
- 受講料／500円(材料代)

- 生涯学習課 ☎43-3383
- 田沢湖公民館 ☎43-1061
- 角館公民館 ☎54-1110
- 西木公民館 ☎47-3100

音楽に合わせて体を動かそう

ココカラ(ココ)ところからだ 体操教室(第2弾)

冬場の運動不足解消に、音楽に合わせて楽しく体操しませんか。「心と体を磨こう」をテーマにココカラ体操を行います。マイペースでできる教室ですので、ご参加をお待ちしています。

- 日時／1月30日、2月6日、13日、20日、27日(毎週木曜日・全5回) 13時30分～15時
- 場所／角館武道館
- 講師／田口朱実氏(スポーツコンサルタントシバタ所屬)
- 持ち物／タオル、飲み物、大きめのバスタオルかヨガマット
- 受講料／無料
- 定員／20人(定員になり次第締切)
- 申込期間／1月17日(金)～開催期間中まで
- 申込・問合せ／角館公民館

かわいい人形を作りませんか

編みぐるみ教室

毛糸で作る編みぐるみは、ぬいぐるみとはひと味違う愛嬌があり、自身のコレクションや大切な方への贈り物として人気があります。今回制作する見本(写真)を田沢湖総合開発センターに展示していただきますので、希望する作品を選んで窓口へお申し込みください。



- 日時／2月6日、13日、20日、27日(毎週木曜日・全4回) 13時30分～16時30分
- 場所／田沢湖総合開発センター
- 講師／小松龍子氏
- 持ち物／毛糸用かぎ針(6号か7号)、綴じ針、毛糸(色や太さによって作品が変わります)、手芸綿
- ※詳細については、受付時にお知らせします。
- 受講料／無料
- 定員／10人(定員になり次第締切)
- 申込期間／1月17日(金)～30日(木)
- 申込・問合せ／田沢湖公民館

生涯学習活動紹介

よじこー心るさと先生

地域学校交流体験講座

11月1日、西木公民館では西明寺小学校の開校記念日に合わせ、「ようこそ！ふるさと先生」地域の自然・歴史・文化を学ぶ」と題し、地域学校交流体験講座を行いました。

一、二年生は地元で紙工作活動をしている「ひまわりの会」による折り紙体験を、三年生は「田沢湖かたりの会」から辰子伝説などの田沢湖にまつわる話を聞き、四年生は生保内地区で活動する「秋田官休会」による茶道体験、そして五年生は地元写真店の協力でデジタル教室を行いました。また、かこのだて歴史案内人組合の案内で角館の歴史巡りを行った六年生は、学習資料館で解体新書を見学し、更に武家屋敷でも各屋敷の歴史を学びました。各学年ごとに違うメニューで実施された講座でしたが、子どもたちは地域の方々との交流を深め、ふるさとを学ぶよい一日となりました。



1・2年生の折り紙教室。



心豊かな教育文化のまち

《仙北市教育委員会だより》

第99号

豊かな経験を次につなげて

わくわくした思いで台北の空港に降り立ち、目にした光景は漢字だらけの標示でした。初日に蒋介石記念堂、最終日に龍山寺、故宮博物院などを見学し、中華料理と異国の町並みを味わった4日間でした。

恵文高級中学の給食体験では、種類の多いバイキング形式で迷うほどでした。スープは酢が効いていてやや苦手な味だったことで、角館中学校の給食のおいしさを再確認した生徒たちでした。三つに分かれてホームステイをさせてもらったことも有意義な体験でした。それぞれの自宅で台湾の人たちの日常の暮らしを体験しました。台湾の食文化も目新しいことばかりでした。

6人に一番楽しかったことを聞きました。〈川越さん〉向こうの中学生と交流したこと。私たちでも親しみやすいゲームをしたり、お菓子作りについて話したりして友だちになりました。〈小木田さん〉サッカーと一緒にやったこと。今まで学習した英語が通じたこと。〈鈴木さん〉食を通じた台湾の文化。給食も屋台も最終日の小籠包も印象に



校内報告会を終えて。

残っている。〈高根さん〉日本語が上手な人がいて、たくさん話げできたこと。〈山口さん〉いろいろな友だちができて、ちよつとした英語で会話できたこと。〈茂木さん〉小籠包がおいしかったこと。日本にはない風景を見られたこと。来年度は台北市立北投国民中学と姉妹校締結をしている生保内中学校の生徒たちが台湾を訪問する予定です。角館中学校の6人からアドバイスがありました。「とにかく積極的にガンガンいくことが大事です。また、車とバイクのスピードが半端ないので、気をつけるように」と話してくれました。

角館中学校 姉妹校訪問～台湾 台中市立恵文高級中学へ～

10月28日～31日にかけて、台湾台中市の恵文高級中学を訪れたのは、山本校長を団長に、戸澤小百合先生、3年生の川越聖来さん、小木田頼希さん、鈴木威武生さん、高根日愛さん、2年生の山口紗季さん、1年生の茂木羽琉さんの総勢8人です。

交流の原点は心と心

台中市にある恵文高級中学は中高一貫校で生徒も約2千人という大規模校です。広い敷地には噴水があり、図書館があり、天文台までありました。

台湾茶クラブの体験で迎えてもらい、ほっと一息。日本茶とは違う作法がありました。小さな茶器に注がれたお茶の香りを楽しみ、三つで飲み切ります。一口で飲めそうなのに、三つで、というところは簡単そうでした。

校内には日本、秋田、角館のコーナーが作られており、交流活動もフレンドリーな雰囲気の中行うことができました。山口さんはギターで弾

欠かせない英語の力

歓迎セレモニーでは、恵文高級中学の生徒たちがチェロ、コントラバスを交えて伝統的な楽器の演奏してくれました。両校長のあいさつや記念品の交換もあり、生徒同士も英語で発表を行いました。日本語を学んでいる生徒たちということでしたが、英語が上手で、角館中学校の生徒たちは英語力の必要性を痛感したそうです。

山本校長も「まず一番に文化の違いを感じたと思う。台湾の生徒た

ちは英語力がとても高い。交流していくうえで英語の力は欠かせないと思った。角館中学校の生徒たちの英語の学習に向かう意欲が高まるのは、……と話してくれました。



会話は主に英語で。中国語や日本語も混じっていたかな？



恵文高級中学の生徒さんたちと。